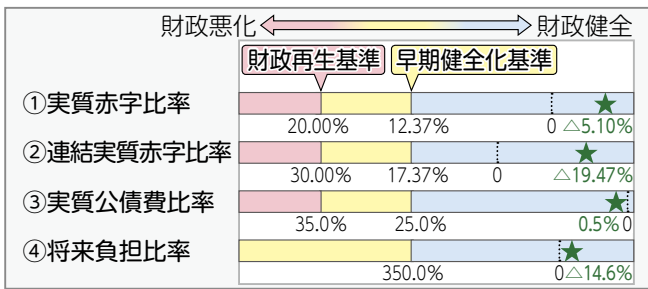
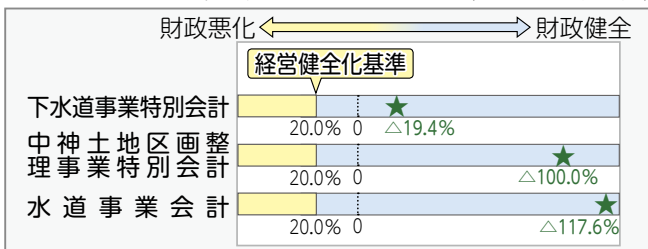


図1 健全化判断比率の状況 (★=昭島市の値)



※いずれも、市の財政規模に対する①一般会計の赤字額の割合、②特別会計などを含めた全会計の赤字額の割合、③全会計の借金の返済に充てた税など一般財源の割合(3か年平均)、④地方債(借金)残高など将来負担すべき実質的な負債の割合です。
 ※①・②は赤字の程度を示す指標のため、黒字の場合は△(マイナス)表記となります。
 ※④は負債の程度を示す指標のため、将来負担額を充当可能財源などが上回った場合は△(マイナス)表記となります。

図2 資金不足比率の状況 (★=昭島市の値)



※赤字の程度を示す指標のため、黒字の場合は△(マイナス)表記となります。

☆詳しくは、財政課へ。
 いきま。
 の健全化に取り組んで
 に向け、更なる行財政
 の健全化に確かな実現
 あきしまの確かな実現
 の推進など、元氣都市
 みや市民の健康づくり
 まちづくりへの取り組み
 今後も安全・安心な
 状況です。
 健全化判断比率が良好
 であつても余裕はない
 ことを意味しており、
 こと意味しており、
 高い水準にあります。

平成28年度決算に基づく 財政の健全化判断比率・資金不足比率を公表

地方公共団体の財政破綻を防ぐために国が定めた基準により、市では各指標を公表しています。これは「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づくものです。この指標が「早期健全化基準」を超えると財政健全化計画の作成などが義務付けられ、悪化した市の財政を建て直すこととなります。

平成28年度決算における一般会計及び特別会計の赤字額は少なく、健全化判断比率は図1のとおりとなりました。4つの指標はいずれも早期健全化基準を大きく下回り、「健全」という結果になりました。

また、水道事業などの公営企業の事業規模に対する赤字額の割合を示す資金不足比率は図2のとおりです。いずれの会計も赤字額はなかったため、経営健全化基準を下回り、「健全」という結果になりました。

昭島市の財政は「健全でも「厳しい状況」」
 各指標の数値は、市の財政状況が「健全であることを示す結果となりました。

第2回文化財めぐりの参加者を募集



- 指定文化財の多い拝島地区を巡り、郷土の文化、歴史に触れてみませんか。
- ◇日時 11月18日(土)の午前9時30分～午後0時30分
- ◇コース 拝島会館(集合)～龍津寺～九ヶ村用水取水口跡など～普明寺～大日堂境域及び日吉神社境域(解散)
- ◇定員 30人(多数抽選)
- ◇参加費 300円(資料代など)
- ☆申し込みは、10月31日までに文化財担当へ。



東京文化財ウィーク2017のガイドブックを、市の主な施設で配布しています！

事業承継セミナー「体験談に学ぶ事業承継」の参加者を募集

- ◇日時 11月15日(水)の午後7時～9時
- ◇場所 フォレスト・イン昭和館
- ◇内容
 - *第一部=多摩地区の事業者(後継者)によるパネルディスカッション
 - *第二部=内藤 博さん(中小企業診断士)によるチェックリストを活用した事業承継に向けた検討項目などについての説明
- ◇定員 100人(申込順)
- ◇参加費 無料
- ◇申し込み 多摩・島しょ経営支援拠点(東町) ☎540-0130へ
- ☆詳しくは、市役所産業振興係へ。

